

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川口市心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 3日 ～ R7年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	事業所18名	(回答者数) 事業所14名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 3日 ～ R7年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	事業所8名	(回答者数) 事業所8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子登園日を設け、保護者支援を行っている。	・スキンシップ遊びなど、親子関係の愛着形成につながる遊びを親子で行っている。 ・ご自宅や他施設での様子、学園での様子をお互いに聞き合い、お子さんの全体像を把握するように努めている。	・クラス内での保護者会を行い、保護者同士が話し合える場を設ける。
2	お子さんに合わせた給食を提供し、食事指導を行っている。	・お子さんの発達や身体の状態に合わせ、姿勢（座位保持椅子など）や環境（状況に合わせてパーテーションで区切るなど）、形状（ミキサー食、刻み食、とろみ使用など）、提供の仕方（量の調整、苦手な物を取り除くなど）の工夫をしている。 ・ご自宅や外食先での様子をお聞きしながら、無理なく食べ進められるように配慮している。 ・専門職（PT、OTなど）のアドバイスを活かす。 ・食物アレルギーのあるお子さんの保護者と学園の管理栄養士が毎月面談をして、安全な提供に努めている。	・お子さんが通っている食事訓練に同行し、よりお子さんに合った給食の提供を目指す。
3	医療的ケア児の単独登園の取り組みを行っている。	・担当医から指示書をいただき、安全なケアを目指している。 ・保護者の医療的ケアを学園の看護師や担任が見せてもらい、どのように行くとお子さんに負担がないか検討している。 ・学園看護師が保育に積極的に参加して、お子さんと触れ合うようにしている。	・より安全に医療的ケア児を親子分離で預かるために、普段と違う様子がある場合はすぐに保護者に連絡をして、状況判断を仰ぐ。 ・職員が状況判断ができるよう、普段から医ケア児の様子を学園看護師を交えて職員間で情報共有する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学園で行っている取り組みを保護者にわかりやすく周知できていない。	・多くの行事は3歳児以上の取り組みのため、2歳児以下の保護者にはわかりづらい。 ・取り組みの目的を文書でお知らせしているが、保護者の方々全てが読んでいるかはわからない。また、外国籍の方が多く在籍し、言葉では伝わりづらい。	・行事や学習会などの取り組みの後、内容を掲示したり、お知らせ等で周知したりしていく。 ・マニュアル等は、どこに置いてあるのかわかりやすいように掲示していく。
2	常駐の専門職がおらず、常に情報共有することが難しい。	・専門職を探している状態だが、見つからない。	お子さんが通っている病院等の訓練に職員が同行し、家庭と共通認識をもって、支援が出来るようにしていく。
3	成人施設と同じ給食メニューのため、子ども向けではない献立の時もある。	・成人と児童の給食を分けて作ることは難しい状況。	・給食の提供方法等を管理栄養士と相談していく。 ・ご自宅ではあまり食べない献立を給食で体験し、食の幅を広げていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
心身朱外福祉センターわかゆり学園 児童発達支援事業所		令和7年3月25日				18名		14名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0	・とても広くのびのび動いています	クラスの数によって配慮をしてスペースを確保し、工夫をしながら活動の提供を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0		職員の配置については場面によっては応援体制をとりながら国の配置基準以上の職員数で支援をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0	・1日の流れをホワイトボードに示して頂いたり、教室移動の際なども写真などを用いて御説明頂けており、わかりやすいと思います。	引き続き、お子様にわかりやすい環境となるよう整備してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0		保育終了後、使用した部屋や玩具等は全て消毒をしています。引き続き心地よく過ごせる環境にしていまいります。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0	子どもの苦手な分野などもご理解頂いており、それに沿ったご対応をして頂いていると感じています。	職員一人一人が専門性を高められるよう研修の充実を図ってまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0		2月に支援プログラムをホームページにアップしました。支援プログラムに基づき、支援を提供してまいります。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	支援計画作成前にも先生方とお話し、こちらの希望や課題を反映してくださっています。	引き続き、お子様のご様子や保護者様とお話をしながら個別支援計画の作成を行っています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	0		引き続き具体的な支援内容が設定できるよう努めてまいります。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		引き続き、児童発達支援ガイドラインに基づき、適切な支援を提供してまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	0		活動プログラムについては更に充実できるように検討してまいります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	3	3		年長児の交流保育が実施されています。地域の子どもの交流については検討してまいります。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		引き続き、丁寧な説明を行っています。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		引き続き、丁寧な説明を行っています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	1	2		家族支援プログラムや保護者向けの研修会等を充実できるよう検討してまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0	・先生方からよくお声がけを頂き、子どもの体調などについてもよくご理解頂いていると思います。	親子登園にご協力いただきありがとうございます。お子様の状況等は利用時にお話をしながら共通理解を図ってまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0		引き続き、保護者様とお話をする時間を設けてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0		今後もお子様の状況を確認しながら保護者の方の思いを大切にしていまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	0	2		クラスごとのペアサポはありますが全体の保護者会は実施がありませんでした。保護者の交流できる機会を検討してまいります。また、家族参観等できょうだい参加について検討してまいります。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	1		引き続き、ご相談やその申し入れに対して迅速かつ適切に対応してまいります。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0		連絡帳やお電話、メール、通知文等で情報伝達を引き続き行ってまいります。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	0	3	わかゆり通信や通知文等でお知らせをしています。また、自己評価の結果等は掲示板に掲示するとともにホームページにて公表をいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0	引き続き個人情報の適正な取扱いについては徹底をしてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	2	各種マニュアルについては策定されております。救命講習。防犯講座を職員は受講しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1	・定期的に避難訓練が行われているようです。毎月避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0	安全計画については掲示しており、各クラスにもファイリングしております。計画に基づき安全な保育を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	0	引き続き、事故（怪我）が起きた時にはすぐにご連絡をし、状況説明をしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	今後もお子様の気持ちに寄り添い、安心感をもって通所できるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	2	お子様の気持ちに寄り添い、楽しく通えるよう、努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	保護者の皆様のご意見を参考にし、より良い事業所になるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援事業所		令和7年3月25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・パーティション等を活用しながら、空間調整をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・状況により、応援職員をもらいながら、行なっている。登園人数が少ない場合は、他の応援に行って、大人が多くなり過ぎないようにもしている。 ・子どもの状態や活動内容などに応じて、職員の人数を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・写真や具体物などを活用し、混乱なく参加できるように心掛けている。	・経年施設であり成人施設と同じ建物であることから設計上の課題があります。ゾーン分けを行い、子どもにわかりやすい環境になるよう更に工夫をしてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日保育室やトイレを掃除し、使用したおもちゃや遊具を消毒している。	・職員清掃や業者委託等で施設設備を維持し、必要な修繕を行っております。引き続き衛生面の徹底をしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・使用していない保育室や相談室を利用している。	・常時個別の部屋を設定をすることは難しいが、相談室や空いている保育室、また、衝立等でスペースを作り状況に合わせて使用をしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・一日の保育や行事など、どの職員も振り返りをして次に活かしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎年保護者の評価を行い、保護者からの意見を真摯に受け止め、改善策を職員で考えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・定例会議、保育計画会議など ・毎日の全体ミーティング、定例会議、保育計画会議で意見を伝え合うだけでなく、職員同士が普段から話しやすい関係を維持し、より良い支援を考えて取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		外部評価を行っていないため、今後検討をします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・全員毎年何かしら研修が受けられるように割り振られている。 ・内部では、ケース検討会議やヒヤリ・ハット事例からの学習会、医師による学習会、防犯研修、感染症対策研修など、幅広い学習の機会がある。また、外部研修にも積極的に参加し、職員内で情報共有も行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・R7年2月から川口市ホームページに掲載されている。	・保護者への通知が不十分のため、R7年の新年度に全体周知したい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者からの聞き取りを必ずしている。 ・保護者の希望や困り感を伺い、今何に取り組むとニーズに近づくかを考え、子どもの発達に合わせた目標を立てるよう心掛けている。子どもの本当のニーズは分かりづらいが、保護者と一緒に子どものニーズを考えることに意義があると感じている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・児発管、担任間で共通理解ができている。 ・普段から、子どもの状況や成長を伝え合い、情報共有をしている。担任と個別支援計画会議を行い、変更・改善をし、子どもの状況に合った個別支援計画を作成するようにしている。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・共有し、個人記録にも書く欄を設けて、意識する様にしている。 ・個人の発達の記録書に支援計画を添付し、常に計画を見るようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・総合的に行なっている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・行ってみてその日の課題があったら、次回変更するなどして、話し合いながら行なっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・季節のものや児の状況や興味に合わせたものを提示している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・出来るだけ、打ち合わせをするが、バスなどで不可能な場合は、メモや日誌を置いておいて連携をとっている。または、会ってから話をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・振り返りをしているが、バス添乗などでない場合は、翌日に実施。	・毎日職員間で話し合いを行っているが、勤務状況等で職員全員がそろわないこともあるため、不在の職員は次の日の朝には情報共有をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日誌、個人記録を作成し、検証、改善をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・保護者と話を聞く時間を設け、職員からお子さんの状況を伝えている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・リハビリ同行。他事業者に訪問し情報共有。 ・関係機関と情報共有し、必要な支援を共に考えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者の希望があれば移行支援計画を作成し、移行支援を実施。 ・併用先や移行先に訪問し、お子さんの発達状況をお伝えし、どのような支援が必要か一緒に考えている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者の希望があれば移行支援計画を立てて、移行支援を実施。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

携	31	(31は、事業所のみ回答)				わかゆり学園内に児童発達支援センターがあるため、日々の保育の中でセンター職員とも相談をしている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	・交流保育 ・年長児の希望者は、地域の保育所の保育に参加し、同年代のお子さんと関わる交流保育を行っている。	・年長児の交流保育は実施しているが、園全体としての取り組みが実施できていないため、検討をしていく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・どの保護者とも毎回話をする様に心がけている。 ・親子登園時や連絡帳、電話にて、お子さんの状況を伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・クラス毎のペアレントサポートタイムや、保護者学習会を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・個別支援計画の聞き取り、配布、その他大変な時は声掛けをして、丁寧に話を聞くことを心がけている。 ・親子登園時に、積極的に保護者と話し、相談しやすい雰囲気づくりをしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・保護者会はないが、極力母同士が話が出来るように橋渡しをしたり、おしゃべり会の実施をしている。家族参観やお楽しみ会、夏休み期間のきょうだいデイを通して、きょうだい同士の繋がりを持つ機会を設けている。 ・保護者の負担軽減のため、保護者会活動は行っていないが、普段の保育の中で保護者同士が関わっている。きょうだい児が学園の保育に参加できる機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・希望により、話をする時間を設けたり、電話で聞く必要がある時は、時間をとって対応している。 ・職員間で検討し、適切に対応しようと日々努力している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・ホームページを新しくした。	お便りや通知文等で発信しているが、言葉の問題や伝わりにくいこともあるため、情報の発信方法についてさらに検討をしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・伝わらない時は、メモを渡す。事前に電話をするなどして対応。 ・日本語が難しい保護者の方にも翻訳アプリ等を利用して対応。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・公開保育の実施。 ・公開支援を行い、わかゆり学園の支援を見ていただく機会を設けている。	・公開保育は再開をしましたが、コロナ禍を挟み地域に向けた行事は行うことが出来ないため、今後検討をする必要がある。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・毎年訓練を行なっている。また、マニュアルを掲示している。	

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・ 毎月の避難訓練が有意義なものになっている。 ・ 毎月避難訓練を行い、消化器の場所を保護者と確認している。また、AED研修に全職員が参加している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・ 日本語が分からない保護者の対応が改善する必要があると考えられる。 ・ 入園の際、個別面談で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・ アレルギー児の棚を作り、お盆を作り、アレルギー児の準備を先にして、おかわり用も先に用意すること、毎月の栄養士さんとの確認点等が工夫されてると思う。 ・ アレルギー食と分かるように食器を区別し、代替え食品を提供している。栄養士が毎月保護者と献立を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・ さすまたの研修が大変になった。避難訓練も毎月あり、有意義なものになっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・ 災害などが合った場合、どのような方法で降園するか確認している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ 小さなことも共有し、対策を練っている。 ・ 事例があればすぐに書類を作成し、職員内で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・ 全職員が毎年研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・ 護者と担任で必要かどうか話し合い、資料を作成して学園内の委員会で検討し、保護者と書類を取り交わしている。	